教科シラバス

◆教科	ファッション	◆科目	パーソナルカラー2級	◆科目コード	60402	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（通年）	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10

◆授業の目的と概要	似合う色提案であるパーソナルカラーは、メイク・ヘアー・ファッションに活用できるデザイン理論である トータルビューティ科：パーソナルカラー検定2級の内容を授業で行い、パーソナルカラーの基礎的な知識をもとに、他者に対してアドバイスができるようになる
◆到達目標	色彩学の基礎・配色技法・クライアントを中心にした色素のアドバイスを学び、各美容業界で活用できる知識の構築

回数	授業方法	授業内容	使用教材
1	講義	PCCSの色表示（色を伝える・記録するための基礎）・各シーズンの似合う色（SP/AU/SU/WI）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
		物体の色が見える仕組みと混色（反射・吸収・透過　加法混色・減法混色）	カラーカード・スウォッチ・過去問27
		慣用色名（SP/AU/SU/WI）SPRING	ハサミ・のり・色鉛筆
2	講義	色彩心理（色が心に及ぼす効果を学ぶ）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
		PIのおさらい　ヘアカラー・メイク・アクセサリー	カラーカード・スウォッチ・過去問27
		慣用色名（SP/AU/SU/WI）SUMMER	ハサミ・のり・色鉛筆
3	講義	ドレーピング（24色の布を使用して似合う色の提案技術を学ぶ）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
		色素のアドバイス（肌・髪・眼の色素から導き出された似合う色の提案の仕方）	カラーカード・スウォッチ・過去問27
		慣用色名（SP/AU/SU/WI）AUTUMN ・ WINTER	ハサミ・のり・色鉛筆
4	講義	色彩調和・配色１（統一と変化　色相配色・トーン配色）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
		ファッションアイテム（スカーフ・バッグ・メガネ）	カラーカード・スウォッチ・過去問27
		慣用色名（SP/AU/SU/WI）SPRING	ハサミ・のり・色鉛筆
5	講義	色彩調和・配色２（アクセントカラー・セパレーション・グラデーション）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
		ブライダル（ブライダルシーンでのパーソナルカラーを使った提案）	カラーカード・スウォッチ・過去問27
		色素のアドバイス（肌トラブル・日焼け・加齢）	ハサミ・のり・色鉛筆
6	講義	色彩調和・配色３（ドミナントカラー・ドミナントトーン・トーンオントーン）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
		似合う見え方・似合わない見え方（身につける色によって変わる印象を学ぶ）	カラーカード・スウォッチ・過去問27
		クライアントに寄り添ったアドバイス　親身なコミュニケーション	ハサミ・のり・色鉛筆
7	講義	クライアントに寄り添ったアドバイス　親身なコミュニケーション	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
		似合う見え方・似合わない見え方（身につける色によって変わる印象を学ぶ）	カラーカード・スウォッチ・過去問27
		慣用色名（SP/AU/SU/WI）	ハサミ・のり・色鉛筆
8	講義	色彩調和・配色４　似合う配色の提案（SP/AU/SU/WI）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
		似合う見え方・似合わない見え方（身につける色によって変わる印象を学ぶ）	カラーカード・スウォッチ・過去問27
		慣用慣用色名（SP/AU/SU/WI）	
9	講義	テスト１（過去問を使用し、習得度を確認する）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
			過去問25
10	講義	テスト2（過去問を使用し、習得度を確認する）	カラーマスターワークブック/パーソナルカラーワークブック
			過去問26

評価方法及び基準	テスト2回のうち高得点の方を評価の対象にする。さらに授業への取り組み方によって授業回ごとに1点減点。 【評価】90～100点→A評価　70～89点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価 ①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。 ②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。 ③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス							
◆教科	教養文化	◆科目	英会話	◆科目コード	60606	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（後期）	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	（1年次）3h×5 （2年次）3h×5
◆授業の目的と概要	1年次に学んだ知識・技術に磨きをかけます。主にロールプレイングやペア練習を通して、英語を使う「場面」に慣れていきます。 コロナが収束し、訪日外国人が過去最高ペースで増加している中、彼らと交流する機会もあることでしょう。想定される会話を通して、効果的な表現を学びます。 好きなものについて語る練習をしましょう。自己開示は、関係を築く第一歩。						
◆到達目標	①名古屋の名物・経路案内をできるようになる。→（端的でわかりやすい説明文の構成を学ぶ。）②今ハマっているものについて、話す。→（情熱を込めた表現を学ぶ。） 原稿がなくても大丈夫！と思えるように反復練習する。						

回数	授業方法	授業内容①	授業内容②	使用教材
1	講義			
2	講義			
3	講義			
4	講義			
5	講義			
6	講義	”推し”について語ろう	like, love 以外に”好き！”を伝える表現	
		ー日本語の文との違いを学ぶー	なぜ好き、どこが好きかを付け加える大切さ	
		”推し”について発表	相互に追加質問・コメントで、会話をつなげよう	
7	講義	How are you?だけじゃない。近況を聞く表現		
		地元名物の紹介文導入（岐阜タンメンの効果的な説明）	①概要②詳細③付加情報の順	
		地元名物の紹介発表（岐阜タンメンの効果的な説明）	上記①～③を意識	
8	講義	道案内（前半）の表現導入（名駅→名古屋城）	土地勘のない人に案内するときの、ちょっとした工夫	
		道案内（前半）の発表（名駅→名古屋城）		
9	講義	道案内（後半）の表現導入（名駅→名古屋城）		
		道案内（後半）の発表（名駅→名古屋城）		
		原稿なしで、通しで道案内		
10	講義	ショッピングを楽しもう（導入・発表）	セール品の表現、値引き交渉	
		Quiz（小テスト）		
		まとめ		

評価方法及び基準	ペア毎の発表と、小テストにより次のとおり評価する。 【評価】90～100点→A評価　70～89点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価 ①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。 ②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。 ③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス

◆教科	教養文化	◆科目	韓国語	◆科目コード	60782	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（通年）	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10

◆授業の目的と概要	ハングルを読めるようにハングルの仕組みを理解し、使えるようにするために学ぶ。また、聞く・話す・読む・書くの基本的なスキルをバランスよく練習し、 日常で使える挨拶や簡単な会話能力を身につけることを目指す。
◆到達目標	簡単な日常会話を理解し、会話ができるようになること。 短い文章を読んで理解し、書くことができるようにすること。 文法と語彙の基本的なルールを理解し、適切に使えるようになること。

回数	授業方法	授業内容①	授業内容②	使用教材
1	講義	韓国語はどのように構成されいるのか。	ハングルの仕組み	
			基本母音	
			子音（平音）	
			子音（激音）	
2	講義	ハングルが読める！	子音（濃音）	
			パッチム	
			合成母音	
3	講義	第1課　私は日本人です。		
4	講義	第2課　日本人ではありません。		
5	講義	第3課　それはなんですか。		
6	講義	第4課　約束があります。		
7	講義	第5課　会社はどこにありますか。		
8	講義	第6課　週末は何をしますか。		
9	講義	第7課　そんなに遠くありません。		
10	講義	まとめ授業		

評価方法及び基準	テキストを使って20問の筆記テストで評価する。 ・ハングルの仕組みを理解し、読めることができるか。・文法と語彙の理解、基本的な文法ルールや語彙を正確に使えるか ・日常で使える挨拶や簡単な会話ができるのか。 【評価】90～100点→A評価　70～89点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価 ①追試験を受験して合格した場合、60点として評価する。（学校が適当と認めた理由により受験した場合はその限りではない）。 ②試験または追試験の結果が59点以下の場合、再試験の受験を義務づける。 ③再試験を受験して合格した場合、60点として評価する。

教科シラバス							
◆教科	総合応用技術	◆科目	アロマテラピー	◆科目コード	60757	◆授業の方法	講義
◆開講年度	2024年度	◆開講時期	2年（通年）	◆担当教員	非常勤講師	◆授業の回数	3h×10
◆授業の目的と概要	一年生でのアロマテラピーの学びを活かし、更に、幅広く植物のチカラに関する知識を身につける。 身体の内側からも外側からも健康で美しくなれる方法を学び、ライフスタイルの様々な場面に活用できるようにする。						
◆到達目標	私たちの心身を健やかにし、豊かな毎日を手助けしてくれる植物のチカラを習得。 自分自身の心身を見つめ直し、植物のチカラを取り入れ、セルフケアに活かしていく。						

回数	授業の形式	授業内容①	授業内容②	使用教材	備考
1	講義	オリエンテーション ナチュラルビューティーとは		＊ナチュラルビューティスタイリスト検定 公式テキスト ＊実習（自然素材の石鹸作り、ヘアオイル等作成） ＊精油（20種）アロマテラピー検定精油セット続きを使用	
2	講義	ナチュラルビューティに生きるために			
3	講義	五感に心地よいライフスタイル			
4	講義	正しいスキンケアで美肌を作る（1）			
5	講義	正しいスキンケアで美肌を作る（2）中間テスト			
6	講義	正しい呼吸法			
7	講義	カラダを巡らせる運動			
8	講義	ヘアケアで美しい髪			
9	講義	自然素材の手作りコスメにチャレンジ			
10	講義	授業まとめ・期末テスト			

評価方法及び基準	課題評価、テスト、授業への取り組みの姿勢、出席点による総合評価 課題評価30点→1課題10点とし、3回提出（十分満足と判断 →9～10点、概ね満足であると判断される →7～8点、可（4～6点）、もう少し努力が必要 →1～3点、未提出 →0点） 授業への取り組みの姿勢30点→忘れ物10点、居眠り10点、学習への取り組み方10点（1ポイントずつの減点方式） テスト評価30点→中間テスト(5回目)10点、総合テスト(10回目)20点 出席点10点→3時間単位の授業1回出席ごとに1点 【評価】90～100点→A評価　70～89点→B評価　60～69点→C評価　0～59点→D評価